



LD等発達障害児・者親の会

「けやき」機関紙

第125号

2021年12月発行

発行者・代表 廣瀬登士子

けやきホームページ URL [http:// keyakitokyo.web.fc2.com/](http://keyakitokyo.web.fc2.com/)

《勉強会のお知らせ》

日時：2022年1月23日（日） 13：30～15：00頃

会場：オンライン（ZOOM）

テーマ：「様々な事例を通して考える親なきあと」

講師：東京都発達障害者支援センター 柏木様

大きかったコロナ第5波もようやく落ち着き、今は少しだけ以前の日常が取り戻せています。けやきも10月、11月と対面で例会を開催することができました。しかし、新たな変異株が現れたという話もあり、まだまだ予断を許しません。先の見通しがつきづらい状況が続き、寒さの厳しい季節にも入りますので、皆様どうぞ十分ご自愛ください。

さて、けやきでは1月に勉強会を開催いたします。

「8050問題」がクローズアップされるようになり、色々なところで「親なきあと」関連の話題に接する機会が増えてきました。制度やお金等の管理について、その道の専門家の方々が、色々な方法で情報を発信してくださっています。

今回のけやき勉強会は、制度等の詳しいお話ではありません。それはまた別の機会に譲り、まずは「親なきあと」を考える最初の一步として、様々な事例を通して実際に起こっている問題や現状をお聞かせいただき、今後を考える上で押さえておかななくてはならない要点を明確にしていきたいと考えています。

「親なきあと」は本当に様々です。これから先を具体的に考えていくためにも、先生のお話の中から、それぞれにとって見逃してはいけない大切なポイントを見つけてくだされば幸いです。

質疑応答のほか、お互いに意見交換も行いながら、内容を深めていきたいと思えます。どうぞ奮ってご参加ください。 (TH)



東京都との意見交換会について



都との意見交換会（要望書回答）は以下の通り開催されます。回答を伺うだけでなく、私たちの意見を直接都に伝えることができる機会ですので、ご都合のつく方は是非ご参加ください。（感染状況によっては、変更する場合があります。）

日時：2022年1月25日（火曜日） ※各局入替え制

10時～11時 福祉保健局等

11時～12時 産業労働局

13時30分～14時30分 教育庁

例会報告

◎10月例会

10月23日（土）

13：30～15：30
多摩交流センター第2会議室

コロナの状況が落ち着きましたので、ほぼ1年ぶりに対面での例会開催となりました。オンライン例会で毎月皆さんとお顔を合わせる機会はありませんでしたが、やはり直接お目にかかってお話できたからでしょうか。参加は5名と少なめでしたが、お子様のご様子やコロナ禍での生活、今後の「けやき」について、「親なきあと」等、話は尽きませんでした。

◎11月例会

11月28日（日） 14：00～15：30 多摩交流センター第2会議室

今月もコロナの状況が落ち着いていましたので、対面で開催しました。参加者は役員のための4名でしたが、全国LD退会後のけやきの活動について、色々と意見を交わすことができました。「親なきあと」関連では、支援者に何を伝えたいかを考え、レジメにしてきてくださった方もいらっしゃいました。1月勉強会の内容にも通じるものなので、いただいたレジメを元に、12月例会で話し合いができればと考えています。また、発達障害者が加入できる共済保険のパンフレット（ぜんち共済）もいただくことができました。

（TH）

10月例会の様子



ポーレポーレ活動報告

ポーレポーレの活動は8月、9月、10月、11月全て ZOOM を利用したオンライン集会となりました。当日の様子をボランティアの方が以下のようにお知らせくださいました。尚、状況が落ち着いていましたら、12月は対面での例会を開催する予定です。楽しみですね。

●2021年 8月8日 (日)

今回は、メンバー7名の方の参加がありました。近況報告では、近況では、仕事の話（緊急事態宣言下での仕事の変化、通勤のこと、あらたな生活のことなど）、趣味の話（オリンピックのこと、本のこと、野球のこと、ストレス発散方法など）などをしました。後半、みなさんでクイズ活動を2つしました。ひとつは、13文字の中から、「3文字の料理名」を4つ探す問題でした。もうひとつは、日本の苗字ランキングトップ10を当てる問題でした。チャット機能を使って考え合いました。1位から10位までは、佐藤、鈴木、高橋、田中、伊藤、渡辺、山本、中村、小林、加藤の順でした。

●2021年 9月12日 (日)

今回は、メンバー6名の方の参加がありました。前半は、仕事の話（緊急事態宣言下での仕事の変化など）、ワクチン接種の話、趣味の話（パラリンピック、スポーツ、映画のなど）などをしました。後半、みなさんでクイズ活動を2つしました。ひとつは、あなたはどっち派かを答えるものでした。もうひとつは、漢字の部首ランキングトップ10を当てる問題でした。ちなみに、1位から10位までは、①さんずい、②にんべん・ひと・ひとやね、③てへん、④きへん・き、⑤ごんべん、⑥くち、⑦いとへん・いと、⑧しんにょう・しんにゅう、⑨にくづき・つきへん・つき、⑩つちへん・つちの順でした。さかなへんとかありそうでしたが、ランキングには入っていませんでした。

●2021年 10月10日 (日)

今回は、メンバー7名の方の参加がありました。近況では、仕事の話（緊急事態宣言解除後の仕事の変化など）、ワクチン接種の話、趣味の話（野球、都道府県別魅力度ランキング、ゲーム、お出かけの話など）などをしました。後半、みなさんでクイズ活動を1つしました。お出かけしたメンバーの、そのときの写真をみなさんと共有できたのもよかったです。

●2021年 11月14日 (日)

今回は、オンライン活動にメンバー6名の方の参加がありました。近況では、仕事の話、趣味の話（テレビ、映画、ゲーム、お出かけ、旅行の話など）などをしました。お出かけしたメンバーの、思い出の写真をみなさんで見ることができ、楽しかったです。後半、みなさんでクイズ活動を1つしました。ランキングクイズ、「好きな野菜ランキング1位から10位までを当てる」でした。意外と10個を答えるのが難しく、面白かったですね。

東京LD親の会連絡会3会合同勉強会参加者の感想

日時、会場：11月6日(土) 10:00~11:45 オンライン(ZOOM)

テーマ：「余暇支援について」

講師：加藤浩平先生(東京学芸大学)

今回の勉強会をご担当頂いた「ルピナス」さま有り難うございます。

講師の加藤様から「ミニ」セッションに注視した余暇活動支援のお話を伺い、支援先が増え支援内容も広がりを感じました。息子が高校生になると地域から離れた学校に通うようになり、学校のある日はまだ良いのですが休みの日は待ち合わせが出来ず遊び相手がなくなり私がぼやいているとポーレポーレのお母様からお誘いがあり参加しました。当時は発達障害の子供の遊び支援は限られた場しかなく親達が我が子達のためにやっていたことが、今は支援の一つとして体制化されはじめ助かります。(H)

私は息子が、先々身の回りでうまくいかないことがあった時や職場で問題があった時など、どのようにして心を晴らしていくのだろうと気になり、余暇に期待を寄せてきました。なので今回の加藤浩平先生のお話は、私が長い間考えていた事と重なり、わが意を得た思いがしました。一方で、お話を聞くうちに加藤先生が提案される、他人との交流を前提とする余暇が、果たして人との会話が苦手な彼に休息や安どの場所となるのかわからない気もしてきて質問してみました。「そこにいることだけで楽しいと思えるなら、それでも良いのでは」という返答を頂き、親が思う余暇の在り方と息子のそれは違うことに気づかされ、反省しました。(T)

これまで私自身が「余暇」＝「休日の過ごし方」という考えでいたので、仕事の時は別として、多人数での交わりが苦手な息子にとって、一人で過ごす「余暇」の時間こそ「安心して過ごす自分の世界」になると思い、干渉してきませんでした。しかし、講演でTRPGの事例やお子さんたちの様子をお聞きし、緩やかなルールのある中で「自分が楽しい」環境で過ごせることが大切な時間だと知りました。これからの生活を見直す良い機会になりました。(M)

編集後記

日本では「マスク」をかけることが日常的になってしまっている状況ではありますが、新型コロナウイルス感染者が減少してきた現状で、公共の施設や道端等で「マスク」を付けない人を見かけることが多くなったように感じます。どの段階で「マスク」が不要になるのか？その基準が各個人で異なっているためトラブルが発生しているニュースがあります。日本では、「マスク」を付けることは抵抗が少ないかと思いますが、多くの人が「マスク」を付けることは不自由さを感じているのではないのでしょうか。